

メタボリックシンドローム対策総合戦略事業の実施状況について

資料 1

都道府県		千葉県			
保険者		九十九里町	白子町	大多喜町	新日本製鐵健康保険組合 君津支部
健康診査	実施機関	(財)ちば県民保健予防財団	茂原市長生郡医師会 巡回診療所	勝浦市夷隅郡医師会診療所	(財)君津健康センター
	対象者	40～64歳の住民	40～74歳の住民	40～64歳の住民	40～74歳の被扶養者
	対象者数	3,425名	1,764名	1,219名	995名
	実施者数	1,355名	1,211名	667名	251名
	健診形態	集団	集団	集団	集団
保健指導	実施機関	九十九里町 (町職員である保健師等)	白子町 (町職員である保健師等)	大多喜町 (町職員である保健師等)	(財)君津健康センター (委託)
	対象者数*	751名	690名	415名	112名
	実施者数	283名	618名	241名	13名(10月31日現在)
備考		運動プログラムの一部を (株)運動指導士アカデミーに委託			保健指導は引き続き初回面接 予定あり

都道府県		富山県		福岡県	
保険者		インテック健康保険組合		筑後市	福岡県農協健康保険組合
健康診査	実施機関	(財)北陸予防医学協会	(財)北陸予防医学協会	八女筑後医師会	結核予防会福岡県支部 西日本産業衛生会
	対象者	40歳以上の被保険者	40歳以上の被扶養者	35～64歳の住民	35歳以上の被保険者
	対象者数*	約170名	165名	約5,600名	約1,700名
	実施者数	122名	29名	約2,300名	約1,200名
	健診形態	集団	集団	医療機関(個別)、集団	集団
保健指導	実施機関	(財)北陸予防医学協会	(財)北陸予防医学協会	(財)福岡県対がん協会	結核予防会福岡県支部 西日本産業衛生会
	対象者数*	92名	未集計	約1,160名	約780名
	実施者数	実施中	未集計	今後予定	15名(11月7日現在)
備考					保健指導は引き続き初回面接 予定あり

* 動機付け支援、積極的支援の対象者人数

千葉県モデル

「メタボリックシンドローム対策総合戦略事業」実施計画の概要

背景・課題

- メタボリックシンドロームの有病者・予備群の増加
- これまでの健診・保健指導
目的（疾病の早期発見・治療及び生活習慣の改善・保健指導）についての共通認識が不明確
- 健診と保健指導の連続性
健診結果を受診者自らの健康増進に活用するという、制度目的の不達成
- 被扶養者等の健診受診率が低調
真にサービスを必要とする者の中に、サービスを受けていない者が存在

今後の方向

- メタボリックシンドロームの概念を導入した対策の推進
内臓脂肪型肥満に着目した健診・保健指導等のサービスの提供
- 健診・保健指導の重点化・効率化
保健指導の徹底を目指して生活習慣の改善を支援するサービス全体を体系化
- サービスを必要とする者を効率的に抽出し、確実にサービスを提供
生活習慣改善の必要性を高い者を効率的に抽出し、重点的にサービスを提供
- メタボリックシンドロームの有病者・予備群の減少 → 医療費の適正化

計画の目標

千葉県モデルの実施

メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予防のための健診・保健指導の確立

計画の骨子

1 事業企画・評価委員会の設置（県）

- ①メタボリックシンドローム対策に重点をおいた効果的な健診・保健指導体制の整備に向けた事業の企画・評価
- ②効果的・効率的な健診・保健指導を検証するためのモデル実施機関の選定

2 モデル事業実証試験の実施（市町村・企業組合←県は支援）

- ①健診の実施
- ②保健指導対象者の選定・階層化の設定
・健診結果を基に保健指導対象者の選定・階層化の設定
・保健指導の階層化 ⇒ 「情報提供」「動機付け支援」「積極的支援」
- ③保健指導の実施 ⇒ 国又は県のプログラムの活用
- ④ポピュレーションアプローチの実施

3 保健指導従事者に対する研修の実施（県）

- ・市町村(国保・衛生部門等)の保健師・管理栄養士等
- ・健診・保健指導の事業企画・評価、保健指導の知識・技術

地域・職域連携協議会

連携

連携

保険者協議会

反映

健康増進計画

(健康ちば21)